

令和4年度 丸亀市図書館協議会 第1回会議 会議録

1. 日 時 令和4年7月27日(水) 午後2時～3時15分

2. 場 所 丸亀市役所2階201会議室

3. 出席委員(五十音順)

古 村 博 子
中 俣 保 志
新 禮 子
西 川 昌 宏
真 鍋 真 紀
山 崎 洋 子
山 本 浩 樹

4. 欠席委員

香 川 真 実

5. 事務局

市民生活部長	田 中 壽 紀
生涯学習課長	谷 本 智 子
図書館 館 長	氏 家 雅 子
図書館 次 長	藤 本 仁 美
	関 野 真 樹

6. 傍聴者 なし

7. 開 会

- ・当該会議録について、市ホームページに掲載する旨を告知

8. 会議の成立

- ・過半数委員の出席により、会議成立

9. 部長あいさつ

図書館法に公立図書館に図書館協議会を置くことができると記載されており、その役割として図書館の運営に関し館長の諮問に応じると共に、図書館の行う図書館方針について館長に意見を述べるとされている。丸亀市図書館条例に当協議会の設置を定め、協議会の委員の皆様方のご意見を伺うこととしている。昨年度の事業報告、今年度の事業計画について、様々な観点で建設的なご意見をいただけたら幸いである。

10. 会長あいさつ

学校も夏休みに入ったが、コロナ禍で生徒の活動が制限され遺憾である。図書館においても、運営に苦勞され、講演会や移動図書館など読書推進活動の場において、感染症対策に留意されていると思う。この時代の子どもたちが活動制限により、残念な気持ちにならないようにするのが私達大人の役割だと思う。読書活動もしっかり経験できるように、それぞれの立場から様々なアイデアを出していただけたらと思う。

11. 委員自己紹介

12. 事務局紹介

13. 議 事・質 疑 等

(1) 令和3年度事業報告及び令和4年度事業計画について

- ・事務局 「令和4年度 図書館要覧」に沿って説明
「令和4年度 重点課題」、読書講演会、読み聞かせ研修会について説明
- ・委員 3館の展示については、各々が工夫し楽しいコーナーを設けている。もっと人を呼び込めるような情報発信が必要ではないか。市の facebook を活用されているようだが、図書館独自の facebook やインスタグラムでダイレクトに発信してほしいがどうか？
- ・事務局 現在のところ市の facebook を活用し情報発信している。今後は直接発信できるような方法も検討していきたい。
- ・委員 若い人は SNS などから情報収集をするので、うまくツールを使ってほしい。
- ・委員 県内の公立図書館では相互に貸借できるのか？そういったシステムができているのか？
- ・事務局 県内の公立図書館において、住所地の公立図書館のカードと共に本人確認の免許証などを提示し登録したら利用が可能になる。定住自立圏内で借りた本については、書類を提出すれば圏内のどこの図書館でも返却することができる。このことについて館内で掲示し周知しているが、その他の周知の方法も検討していきたい。
- ・委員 県立図書館の本を丸亀で予約し返却できるとはじめて知った。
- ・事務局 周知、情報発信できていない部分もある。課題ではある。

- ・委員 利用案内には利用者にとって便利な情報が書いてある。
- ・事務局 そういった情報を定期的にお知らせできるような方法を検討していきたい。
- ・委員 学校回送については、小学校は多く中学校は少ないようだが、同様に周知していると思うが何故か？中高生にどのような本が必要とされているか図書館の状況を教えてほしい。
- ・事務局 学校回送については、中学校は授業の補助的な本を特定の学校へ回送することが多い。小学校は授業に必要な本のほかに読み物も求められる。中学校では読書につながる本はあまり依頼されてこない。中高生はティーンズ向けの小説のノベライズ版、テレビ番組の原作などを読んでいる。
- ・委員 本のセットを作ってくれたらありがたい。たとえば理科や道德の授業用の絵本セットなどがあれば回送が伸びるのではないかな。
- ・委員 学校ではギガスクール構想があって、コンピューターでの調べ学習を推進しているが、本ならではの魅力をどう教えていくかも大切である。ある学校では司書がタイムリーにオリンピック関連の本などを展示し、見せたい本を見やすくするなど展示の工夫をしていた。また、ある学校ではギガスクール構想と並行して本の魅力を伝えるため、朝の自習時間に本を読む時間を設けている。読書は想像力を育むために必要である。
- ・委員 岩波ジュニアブックスには、地震は何故起きるのかななどの内容が中学生や小学校高学年にもわかりやすく書かれている。世界ではこういうことが起きていて、その状況についての子どもたちへの助言もある。大人が読んで子どもたちに手渡しで伝えていくのも一つの方法である。感動を伝えることは一番届いていくのではないかな。
- ・委員 昔は図書館へ行って本を探していたが、今はコンピューターを活用し本を探すようになった。本ならではのわくわくする時間を図書館で子どもたちに経験してほしい。読書は大切だと認識しているので、子どもたちに図書館の重要性をアピールしていくことが必要である。
- ・委員 学校図書館は読書を推進し、情報を検索するセンターとしての役割を持っており、学習の支援も行う。教科書や学習指導要領は図書館での調べものと辞書等の活用と連動している。中学校の国語の教科書では SNS 等の情報発信の部分まで踏み込んでいる。情報と文献の部分が実は学習指導要領も教科書も連動する時代になっている。
長野県の高森町では教師や学校司書を支援する学習支援センターを自治体の教育委員会が作っている。同じく長野県の南信州では公共図書館と学校図書館が同じ検索システムで結びついている。図書がインターネット上で連動しており、授業しながら情報検索ができて、読書の活用を推進できる。公共図書館と学校図書館が歩み寄っている自治体が少しずつでてきている。
毎年、毎日新聞が子どもの読書の実態調査をしており、コロナでストップしているが、重要な調査だと思うので、図書館や学校図書館において参照資料として入

手しておいた方がよい。子どもの読書時間の傾向をみると小・中学生は着実に伸びている。ヤングアダルトやヤングといわれる中・高生と大学生の読書時間は減っている。これは親の読書時間・習慣と連動していて学校だけの影響ではない。市全体として、大人が読書に親しめるよう取り組むことが子どもの読書習慣を高めることにつながると思う。

- ・委員 小学校の本の回送については、国語の学習は、教材から発展した調べ学習や物語も併せて読んでみるきっかけになっていて、学校司書から図書館に内容をお伝えし届けてもらっていて助かっている。県立図書館では学校支援文庫（木守文庫）という図書セットがあり、パンフレットを配布して利用促進の案内をしている。今後、このようなセット本の提案があれば、さらに各学校にも広まっていくのではないかな。

丸亀市立図書館ではいろいろなジャンルの展示を行っている。図書館便りを毎月送ってくれ、学校図書館に掲示している。学級数配布したら教室で掲示できるので子どもたちに広まるのではないかな。よろしくお願ひしたい。

- ・委員 図書館においては情報発信や情報の共有をいろいろな形で推進していければよい。今後は、図書館と学校図書館において本の情報が共有できたら学習の範囲が広まると思う。高校では専門司書が少なく、学校図書の蔵書管理が負担になっているので、理想としては図書館とデータの共有ができることが望ましい。

高校生が本を読まないという話については、読んでいる子はすごく読んでいるが大半は読んでいない。総数としては少ない。1人ずつタブレットを渡しているが、皆が電子書籍を読んでいるわけではなく、本を読むなら紙で、電子書籍で漫画は読むが、小説は読んでいないようだ。紙の本ならではの良さを伝えていくのも大事だと思う

- ・委員 電子書籍は出版市場の24%を占有しているが、そのうちの8割がマンガと漫画雑誌である。一般書、一般雑誌は電子書籍市場の1割から2割で、かつ図書館や学校図書館向けのサービスをやっているベンダーは限られている。

学校図書館の予算1校当たり50~90万円では到底このサービスは利用できない。タブレットに親しむためにはよいが、電子書籍への対応は現実的に難しい。

アメリカでは日本の規模を超える電子書籍を提供するベンダーが20社あり、公共図書館で利用している。図書館に行かずして会員登録ができるなど電子書籍事情が日本とは全然違う。学校図書館での電子書籍の普及は難しい。公共図書館での検討は方向性としてあると思う。

- ・委員 図書の資料費について、岡山県立図書館では、図書費が削られていく傾向の中で、雑誌のカバーに企業のPRを掲載し広告費を得ているという紹介があった。そういった取組はしているのか。

- ・事務局 要綱を作成し、以前1件だけ応募があったが、それ以降申し出がない。

- ・委員 とらまる図書館では企業向けスポンサー制度や市民寄附による講座と本棚を設置し活用している。さぬき市の志度図書館もスポンサー制度を設けている。マネー

ジメントの問題があるが、スポンサー制度を活用している図書館は県内にもある。岡山県の瀬戸内市民図書館では友の会があり、助成金を獲得し講演企画を行い、収益を図書館に寄附している。図書館の共催事業としてのイベントを友の会で開催し、講師料の工面などにあてている。伊万里市民図書館では300名のボランティアが屋根の補修や草刈りまで請け負っている。

- ・ 委員 丸亀市立図書館はすごくよい図書館だと思っている。運営も努力されていて、地域資料も豊富で、可能性を秘めた図書館である。雑誌コーナーに、岩波書店の「世界」を置いていることにも表れている。

14. 閉会

15. 事務連絡

- ・ 事務局 特になし